



平成 26 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 東京テアトル株式会社
代表者名 代表取締役社長 太田 和宏
(コード番号 9633 東証第 1 部)
問合せ先 取締役専務執行役員
管理本部長 浦田 雅裕
(TEL. 03－ 3561 － 8321)

通期業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 2 月 12 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）（単位：百万円、％）

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	連 結 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	16,200	10	△90	900	11.40
今回修正予想（B）	15,650	△210	△330	835	10.58
増 減 額（B－A）	△549	△220	△240	△64	
増 減 率（％）	△3.4	—	—	△7.2	
（参考）前期連結実績 （平成 25 年 3 月期）	18,822	△166	△492	△617	△7.82

2. 修正の理由

第 4 四半期連結会計期間において、新規収益物件 3 件の購入に伴う費用を計上したこと、サービス事業において買取債権の残高圧縮を前倒しで進めたこと等により連結営業利益、連結経常利益が前回予想数値を下回る見込みであります。

また、第 4 四半期連結会計期間において、当社取引先に対する債権の一部について回収の見込みが著しく低下したことに伴う貸倒引当金、収益性の低下が予想される事業所に関する減損損失、閉鎖予定事業所の事業所閉鎖損失引当金として合計 640 百万円を特別損失として計上する予定です。連結営業利益、連結経常利益の修正理由に加え、以上の特別損失の計上がございますが、グループの構造改革に伴い見込んでいた特別損失の総額よりも金額が圧縮されたこと等によって、連結当期純利益につきましては上記記載程度の減少額にとどまる見込みであります。

※上記の予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上